



単身者向けペット生存確認サービス



1. 事業ミッション	3
2. 解決すべき課題と定義	4
3. 課題の背景	5
4. 解決定義	6
5. サービス概要	7

6. ビジネスモデル	8
7. マーケット試算	9
8. サービス戦略（商品）	10
9. 事業戦略	11
10. 事業収支計画	12

1. 事業ミッション

単身者が安心してペットと暮らせる社会に



2. 解決すべき課題と定義

推計で年間1.9万頭の犬・猫が
飼い主の孤独死に巻き込まれる可能性がある

●全体の犬・猫の国内飼育頭数は2023年推計約1591万匹

[計算式]

- 単身者率：約11.52%
 $14,457,083 \text{人} \times 1(\text{単身者数}) / 125,502,000 \text{人} \times 1(\text{人口}) \times 100(\%)$
- 単身者の死亡数：推計164,736人
 $1,430,000 \text{人} \times 1(\text{年間死亡数}) \times 11.52\%(\text{単身世帯の割合})$
- 孤独死に巻き込まれる可能性のあるペット数：推計19,653頭
 $164,736 \text{人}(\text{単身者の年間死亡数}) \times 11.93\% \times 2(\text{単身者のペット飼育率})$

※1「厚生労働省 令和3年(2021)人口動態統計(確定数)の概況」より引用

※2「一般社団法人ペットフード協会 令和3年 全国犬猫飼育実態調査」より引用



3. 課題の背景

単身世帯が増加傾向にある状況に伴い、ペットを飼育している単身者が**事故**に巻き込まれたり**緊急入院**をしたり**突然死**を迎えてしまった際、飼育しているペットも**命の危険**にさらされる状況となります。さらに万が一飼い主が飼育困難となった際、ペットが安心して暮らしていくには、**事前に飼い主が引き取り先を指定したりペットの個体情報を引き継げる手配が必要**となります。

ペットの巻き込まれ事故は年々 上昇



社会背景

1

価値観・結婚観
の変化

おひとり様
ライフの選択
が増える

2

単身世帯
の増加

2040年
には
全体の40%に

3

単身者
の平均寿命

孤独死の
平均年齢は
約61歳

4. 解決定義

孤独死に巻き込まれる可能性のある

ペット数を“0”に

単身者の
生存確認

ペットの引取先の
確保

5. サービス概要

飼い主が当サービス(利用者増に伴いアプリに移行予定)を利用していただくことにより、飼い主の“もしも”や“万が一”の際、ペットの救出や引き取りがスムーズにおこなえるよう手助けするサービスです。

Step1

飼い主情報・ペット情報・
引取先情報を設定



Step2

毎日時間指定時間までに
「生存確認ボタン」をクリック



Step3

クリックが確認できない場合
クリック要請



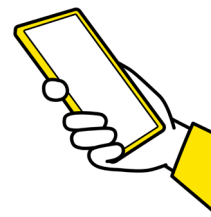
Step4

クリック要請にも反応がない場合
引取先へ連絡

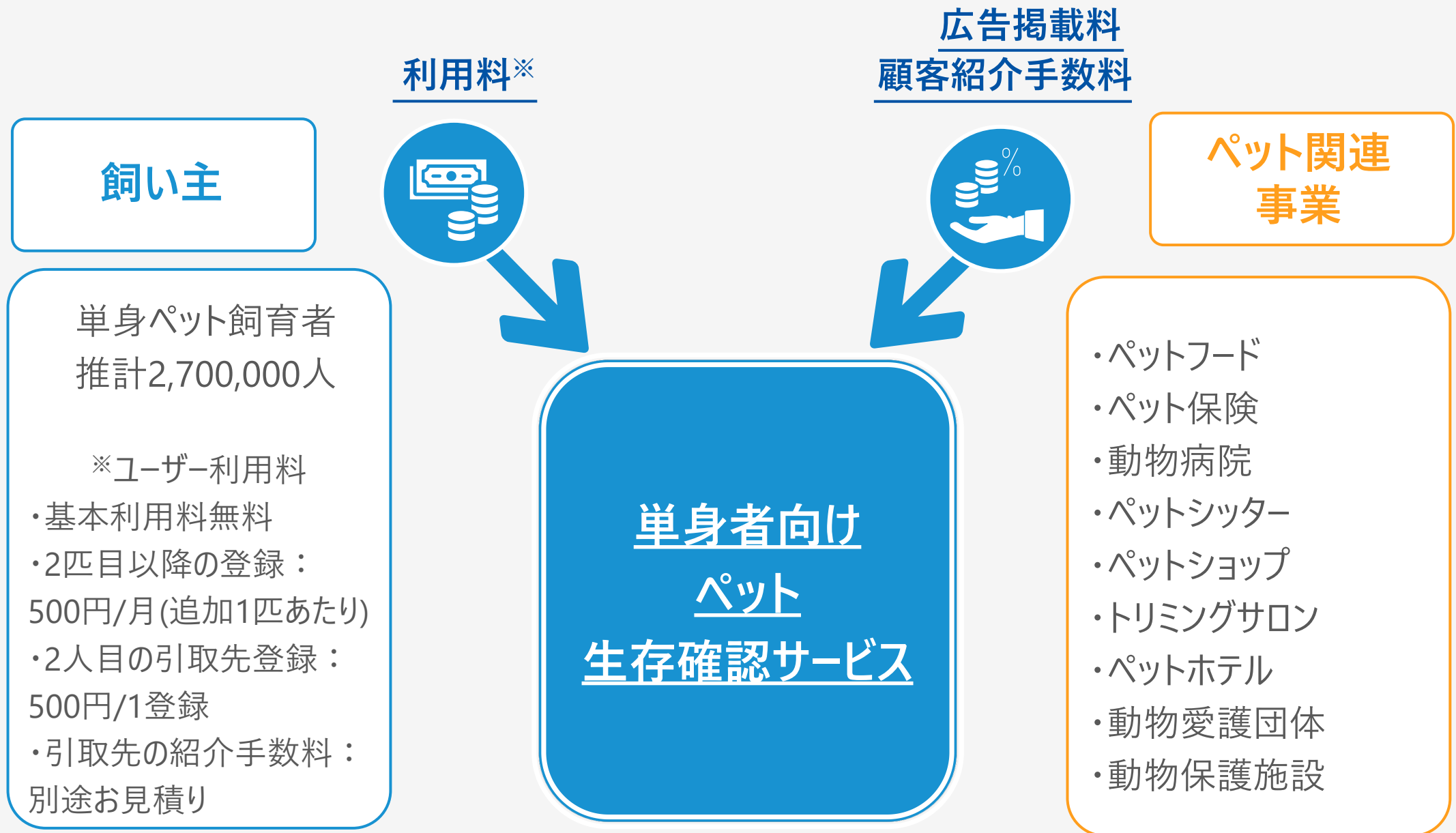


Step5

ペットの救出に伴い引取先へ
ペット情報の開示

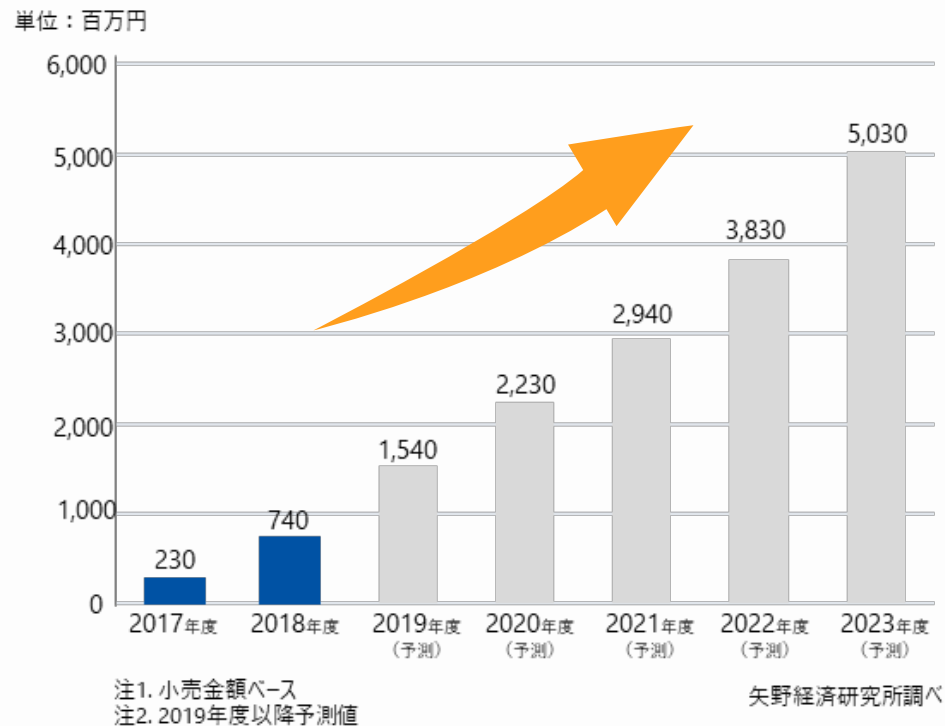


6. ビジネスモデル



7. マーケット試算

国内ペットテック市場



7億4,000万円 (2018年度) ▶ 50億3,000万円

※ペットテック：ペット×IT（見守りカメラ/ウェアラデバイス/自動給餌器/スマートトイレ/オンライン診療など）

※株式会社矢野経済研究所「ペットテック市場に関する調査(2019年)」より引用

8. サービス戦略（商品）

単身者向けペット生存確認サービスが選ばれる 3 つの理由

理由
その 1

“1日1クリックだけ”
ペットの命を守れる



「1日1クリック」だけで家族同然の愛するペットの命を守ることができます。

理由
その 2

基本無料で
利用可能



“単身者が安心してペットと暮らせる社会に”を理念に、まずは本サービスを普及させることを最重要視しているため、基本利用料無料でサービスを提供いたします。

理由
その 3

同様のサービスが
普及していない



単身者のペットの命を守るという目的のサービスですが、現時点(2024年3月時点)では世の中にほとんど普及しておらず、無料でペットの命を救うことができる本サービスは、応援や協力を得られやすい状況です。

9. 事業戦略



ペットを飼育する単身者数

2年間で
普及率**1%**
(27,000人)



5年間で
普及率**10%**
増加へと推移
(270,000人)

※ペットを飼育する単身者数：推計2,700,000人 22,673,476人（単身者数）×11.93%（単身者飼育率）

1

クラウドファンディング
の実施

2

動物愛護団体
との連携

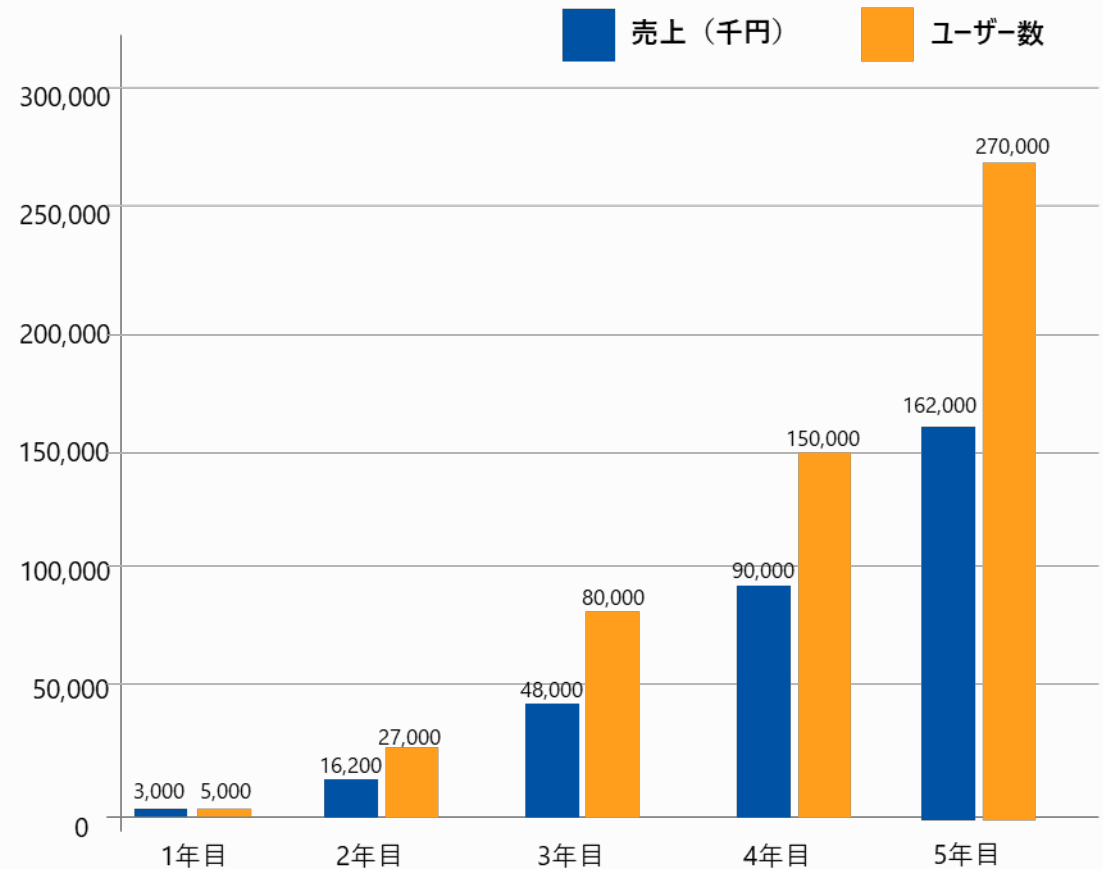
3

ペット関連媒体での
積極的なPR

10. 事業収支計画

年商

	売上	期末時 ユーザー数
1年目	3,000,000円	5,000人
2年目	16,200,000円	27,000人
3年目	48,000,000円	80,000人
4年目	90,000,000円	150,000人
5年目	162,000,000円	270,000人



※単身者の平均ペット飼育頭数：1.54匹

4,029,000匹(単身者飼育頭数)/2,610,000人(ペット飼育単身者数)

※「一般社団法人ペットフード協会 令和3年 全国犬猫飼育実態調査」より引用